



2021-22 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1487 回 (34)

会 長 能 登 伸 一
幹 事 河 村 直 孝

クラブ会長テーマ：「ロータリーに参加して自分も人も豊かにしよう！」

日 時 2022 年 5 月 17 日 (火) 12:30 ～
場 所 福山ニューキャッスルホテル
例会行事 点 鐘 ・ ソング 「 我等の生業 」
ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照)
例会情報 会長報告
幹事報告
出席報告
S A A 報告
スマイル報告
プログラム情報
その他報告

その他情報 メークアップ情報 (来週分)
メークアップ情報 (再来週分)
今後の行事予定
クラブ活動報告



【 会 長 報 告 】

この後、15日に行われた地区研修・協議会の報告が参加された方々からあると思います。次年度の特徴的なことの一つとして、重点分野に「環境」が追加決定されています。

今日はこれに関連して、カーボンニュートラルについていくらか調べてきたので皆さんに報告します。

まずカーボンニュートラルとは、「温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること」を意味しています。日本政府は、2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにすることを宣言しました。これは、2015年に地球規模の気候変動問題の解決に向けて採択されたパリ協定に基づいています。世界の気温上昇を産業革命以前より2℃低く保つことを追求して、120以上の国と地域が取り組んでいます。

2017時点で1850年～1900年に比べてすでに1℃上昇していて、このまま放っておくと気温上昇がつづいて、気象災害（豪雨、猛暑など）のリスクが高まると言われています。

それで、これを達成するため、企業として、地方自治体として、国民一人ひとりとして様々な取り組みが始まっています。

普段の生活でやれることとして、「ゼロカーボンアクション30」というのを環境省が呼びかけています。大きく分けて8つあります。

- ① エネルギーを節約・転換しよう
- ② Co2の少ない交通手段を選ぼう
- ③ サステナブルなファッションを
- ④ Co2の少ない製品サービスを選ぼう
- ⑤ 太陽光パネル付き省エネ住宅に住もう
- ⑥ 食ロスを無くそう
- ⑦ 3R（リデュース、リユース、リサイクル）
- ⑧ 環境保全活動に積極的に参加しよう

となっています。

最後に、わが社の業界の、鉄鋼についてのカーボンニュートラルをお伝えします。鉄は鉄鉱石、石炭からつくる高炉製品と、スクラップを溶かしてつくる電炉製品があります。同じ量の鉄をつくるのに、電炉製品は高炉の約1/4のCo2排出量ということなので、今、電炉で作る動きになっています。ちなみに、日本が高炉7に対して電炉3、アメリカは高炉3の電炉7、ヨーロッパは高炉5の電炉5という比率になっていて、これからますます電炉比率

が高くなってスクラップの需要は増えて、しばらくスクラップ価格は上昇傾向にあるということになります。

今日はカーボンニュートラルについて報告致しました。本日もどうぞよろしくお願い致します。

表に出ていない情報として、海に囲まれた日本の場合排出された Co2 はやがて雨にうたれて海に落ち、それはプランクトンの餌になるから特に Co2 削減をする必要はないという考え方もあるようです。

【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	米山記念奨学会より ・ハイライトよねやま
2	福山 RC より ・G10・11 合同インターシティーミーティング報告書 (USB メモリー) 送付



例会 BGM♪
北村 富喜子 さん
『日本の唱歌』

【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】

《 地区研修・協議会報告 》

❖ 会長・幹事部門 - 笹田 博之



一昨日の日曜日に、広島国際会議場にて地区研修・協議会が、地区クラブのメンバー多数の参加のもと、今回は3年ぶりにリアル開催されました。当クラブからは次年度会長・幹事・クラブ管理運営委員会・奉仕プロジェクト委員会の各委員長総勢9名が出席いたしました。

当日の全体のプログラム内容としては、第一部の合同本会議の開催後は会長・幹事、クラブ管理運営部門、奉仕プロジェクト部門の各委員会に分かれての分科会研修の開催が実施され、その後は第二部の合同本会議の開催となりました。

まず第一部の合同本会議では、石川ガバナーエレクトの挨拶、そして吉原次年度地区研修リーダー、杉川ガバナー挨拶と続き、石川ガバナーエレクトより『次年度RIテーマと地区運営方針について』の報告がなされました。そして最後に2022年RI研修リーダー、服部陽子様より『IMAGINE ROTARYと行動計画』という演題で基調講演が行われました。

第一部終了後に行われました分科会では、私は会長・幹事部門の研修会に出席し、その他の西クラブメンバーはそれぞれが所属する分科会にわかれて研修を受けました。

会長・幹事の分科会では、RI研修リーダーより『DEIとこれからのロータリー』という内容でセミナーが実施されて、理解が難しいDEIの定義について概略説明がなされました。

(Diversity 多様性) ロータリーはあらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経済、アイデンティティーの人を歓迎する。

(Equity 公平さ) ロータリーはクラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保つよう努める。

(Inclusion 包括性) ロータリーはあらゆる人が歓迎されていると感じ尊重され、会員として大切にされるクラブの環境作りに力を注いでいく。

という説明で、3つの漠然とした語句から内容が少し理解できたかなと思いました。

その後は、瀬戸内海の問題の改善ということが地区補助金プロジェクトの重点分野に追加されたことに関連して、日本財団の常務理事より『世界の海を瀬戸内海から変えていく』との内容でセミナーが実施されました。

その後は第二部合同本会議が開催され、最後にまとめの報告が吉原地区研修リーダーよりなされ、研修会・協議会が終了しました。

今回の研修で私自身感じましたことは、研修内容は時代とともに変化していくロータリーのさわりの部分であって、今後も深く理解することに努め、それを現状のクラブ運営・管理にフィードバックさせていかななくてはならない、ということを感じた次第です。

❖ 公共イメージ部門 - 竹中 雅彦



2022-23年度 地区の公共イメージ委員会は「世界を変える行動人として公共イメージを高める」をテーマに掲げられています。基本方針としては

- ① 地区ならびにクラブの活動を一般の人々に効果的に広報する。
- ② 各クラブのデジタル化の推進支援
- ③ 地区とクラブ、ならびにクラブ間のネットワークづくりの促進、です。

分科会では、前田 PG をカウンセラーのもとアンケートの集計結果が報告され、その中でマイロータリーの登録割合が未だ低く、我がクラブは52.9%でありました。

次に、クラブの奉仕活動がメディアに取り上げられた3つの事例報告が紹介されました。一つは下関の5クラブが事業所枠でコロナワクチンを接種し、各社の従業員と市民の方を含め約3500名の方に実施した報告でした。地域のクラブが協力することで大きなプロジェクトが達成できる良い報告でした。

次に光ロータリークラブのメディア掲載の失敗例ですが、海岸の清掃事業を実施したのですが集合時間前に会員が集まり清掃活動が進み、新聞社が取材に来る前にすべて終了してしまった悪い例でした。一応掲載されましたが2行の掲載でした。つい早く終わり帰る事を考えますが取材と活動時間を守らないと掲載不可になる可能性を指摘されました。

最後に福山丸の内ロータリークラブの報告ですが、会員数 25 名程度の小さなクラブですが、地区補助金を活用して大きなプロジェクトを実施し、法務大臣表彰を受けた事例でした。刑務所、少年院退所後に身元引受人が無い人たちが一定期間入所することができる更生保護施設へ、冷蔵庫 10 台、空気清浄機 7 台、コイン式衣類乾燥機 3 台を寄贈した報告でした。

これらの事例から、地域内の各クラブの協力と地区補助金などを活用すれば大きな奉仕事業になる事と、メディアに掲載されるには十分な打ち合わせが必要であることを感じました。

今回の分科会で感じたのは、メディアに掲載されることが広報の最終目的であるようで、違和感を受けました。あくまでも新聞やテレビ、ラジオで取り上げられることは広報の一つの手段ですが、他力本願的でありそれで終了ではなく、クラブのホームページや SNS を活用して自クラブの活動を広報することも重要ではないかと感じました。

❖ 会員増強部門 - 吉山 聡



5月15日日曜日広島国際会議場に 会員増強委員会へ行ってまいりました。

会員増強委員会 アンケート集計結果で、まず

2710 地区

会員数 3134人

クラブ数 72

平均クラブ会員数 43.52人

女性会員数 173人 5.5%

男性会員数 2931人 93.5%

女性会員0クラブ 13 17.8%

地区内の平均年齢は60.76歳と若干若返っているそうです。

アンケートの総括のところでは、

「例会毎週開催が行われている」が 35クラブ 49%

「同・行われていない」が 37クラブ 51%

「退会防止策が実施されている」所が	26クラブ	36%
「同・されていない」所が	46クラブ	64%
「女性入会促進が実施されている」クラブが	22クラブ	31%
「同・されていない」クラブが	50クラブ	69%
「増強の研修が実施されている」クラブが	23クラブ	32%
「同・されていないクラブ」が	49クラブ	68%

という報告がありました。明らかにやっているとやっていないの差がでています。もう少しロータリーに対しての意識を高め、この差を縮めたい所でございます。

それから、新会員を入れればいいではない。会員の増と強。増は会員の増員。ロータリーの相ふさわしい新しい会員を、意欲的に熱意を込め勧誘し獲得する。強はロータリー情報を提供し、会員に魂を入れ組織の体質を強化とする事、とっておられました。

それから女性職業人にもっとスポットをとという事で、女性会員のいないクラブはぜひ入っていただきましょう、受け入れているクラブは更に入会をすすめましょう、ロータリーの魅力は多様性、同業種会員は認められているが、未充填分類の職業人に、ロータリーにふさわしい人、すでに完成された人ばかりでなく、成長が期待される方にスポットをあてていかなければという事でした。

まだまだたくさん研修の内容があるのですが、時間の関係がございますので、この辺でやめようかと思えます。ご清聴有難うございました。

❖ 奉仕プロジェクト部門① - 職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕 - 鹿内 要秀



合同本会議で感じたこと

1, 石川ガバナエレクトの情熱

健康寿命を延ばす為の活動の実施、クラブ活性化の為に小さな事から想像し実践しようという部分に石川ガバナーの情熱を感じました。

2, 分科会で感じたこと

奉仕プロジェクト部門は職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕が合同で聴講しました。私、松井さん、北さんが同じ講演を聴きましたので、代表して報告致します。

最初の講師は歯科医師の高田さんで、「歯・口腔の病気と全身の健康—がん予防新12か条プラスを受けて—」についての講演がありました。演題からはその内容は想像できませんでしたが、言われたことは「歯槽膿漏はあらゆる病気や癌と関連している」というほどの、とても恐ろしい内容でした。

例えば、歯槽膿漏を引き起こす歯周病菌は、歯茎の炎症から血液に混じって身体全体に細菌が拡散され、脳腫瘍や心筋梗塞を引き起こすとか、歯周病菌が混じった食物を誤嚥して肺に菌が入ると肺炎になるとか、歯周病菌はまれに大腸まで到達して大腸癌の元になる話などを聞きました。また、歯周病菌は他の細菌の働きを助長するので、インフルエンザや他の伝染病にもなりやすいなど、まさに万病の元は口の中にあると言った内容でした。しかも病気を発症する確率が数倍に上がるというのだから、まずは歯医者に行こうと思った次第です。

質問の時間が無かったので聞けませんでした。もしかして総入れ歯にすれば歯槽膿漏にはならないのだから、あらゆる病気への予防になって、健康寿命が延びるのでは無いかと考えたところです。この意見は松井さんも同じでした。うれしいことに緑茶を飲むと細菌の繁殖を抑えられるようで、万病予防に緑茶が効果あります。

次の講演は、塩分を控えることによる健康維持の話でした。一日の塩分の摂取量は十グラム以下が理想だそうです。我がクラブでも月に一回食塩を少なくした食事を頂く例会があっても良いのではないかと思います。

最後の講演は、下関の五つのロータリークラブが合同でコロナワクチン接種会場を設営してワクチン接種を推進したという話でした。事前アピールなどの努力の結果一日で3000人の接種が完了したということでした。

この度参加して一番強く感じたのは、ロータリークラブにはクラブごとの特徴が必要だということでした。福山西ロータリークラブの特徴を、会員の誰に聞いてもおなじ答えが帰ってくるという分かりやすい特徴は、きっと新会員候補者へ最も伝えやすい説明になるのではないかと思います。

❖ 奉仕プロジェクト部門② - 職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕 - 能登 伸一



本会議第一部で紹介された次年度 RI 会長、ジェニファー・ジョーンズさんの「IMAGINE ROTARY」の説明がありました。カーボンニュートラルといった問題など、危機感を動機

として様々なことに取り組むことが多い中、ありがたい姿、理想の姿を想像して前向きに楽しく活動することの素晴らしさを訴えていて、それがとても新鮮な感じがして共感できました。

青少年奉仕委員会の分科会ではまず、インターアクト、福山北 RC さんがお世話されている福山英数学館の活動事例、チョコ募金といってガーナの子供たちが働くことの支援についての報告がありました。続いて地区ローターアクト代表の板井さんが、活動内容とクラブ全体としての現況を報告されました。ローターアクトはなかなか活動がままならず、一部活動を止めてしまったところもあり、代表人事は連続で板井さんが続投せざる負えないということで、非常に苦勞されている様子でした。会場からは、この危機的状況についての対策を検討すべきではないか、という意見も出されていました。

次年度の RYLA は 12/3 12/4 に開催されます。内容のメインは 12/4 に行われる防府読売マラソン大会へのボランティア参加（選手への水分補給など）となっています。170 人規模で計画しているということです。

❖ ローター財団部門 - 下平 康孝



5月15日（日）の地区研修・協議会に参加してきました。合同本会議では、基調講演では「IMAGINE ROTARYと行動計画」という題目で2022年RI研修リーダーの服部陽子様の講演がありました。

その後、分科会にわかれ私は、ロータリー財団部門に参加しました。最初に地区財団委員長の山本清さんから挨拶がありました。次に地区の原況報告では、年次基金・恒久基金・ポリオ寄付の2710地区状況報告がありました。

1月29日の財団勉強会でも説明がありましたが、ロータリー財団で今まで

- ① 平和構築と紛争予防
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛星
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基礎的教育と識字率向上
- ⑥ 地域社会の経済発展

の6つとされてきましたが、このところ環境の支援が増えてきたこともあり、環境が7つ目の重点分野となりました。

また、財団のシェアシステムも今までと少し変更がありました。詳しくは、11月の財団月間で詳しく説明してもらう予定です。

❖ 米山記念奨学会部門 - 内山 春夫



米山記念奨学会については米山梅吉氏が作られたのだと思っていたら、米山梅吉氏の名前を冠していますが米山家の資産をもとにつくられた財団ではないそうです。

米山記念奨学会の財源は全国34地区のロータリアンからの寄付金で、今期の寄付金は全国で11.3億円。当クラブは136,000円、1人平均4,121円

奨学金の支給対象は毎年全国で約900人の外国人留学生に支給されています。多くの奨学団体の採用数は年間、数名から数十名規模で、ロータリー米山記念奨学会の採用規模は突出して、国内では民間最大規模の国際奨学事業です。それに50年も続いているのですから、ロータリアンはこのことをもっとピーアールしましょう。そして、ロータリーの会員にはなってもらえなくても将来、日本と世界を結ぶ架け橋となる人材を育てませんかと個人の特別寄付金をお願いしてみてもいいかですかとのお話もありました。



【その他報告】

《各種表彰等》

・米山功労者 マルチプル



4回目 尾熊 孝典 さん

・公益財団法人動物臨床医学部研究所「子ども図書館」書籍寄贈 に対する感謝状



青少年奉仕委員長 北 治郎 さん（代表として）